

平成 2 9 年第 7 回
上小阿仁村議会定例会
会 議 録

平成 2 9 年 1 2 月 1 2 日 (開会)

平成 2 9 年 1 2 月 1 4 日 (閉会)

平成 29 年第 7 回上小阿仁村議会定例会会議録（第 1 号）

○招集（開会） 年月日 平成 29 年 12 月 12 日

○招 集 場 所 上小阿仁村議会議場

○会 議 年 月 日 （ 時 間 ） 平成 29 年 12 月 12 日（10 時 00 分）

○出 席 議 員

1 番	伊 藤 秀 明 君	2 番	伊 藤 敏 夫 君
3 番	北 林 義 高 君	4 番	佐 藤 真 二 君
5 番	齊 藤 鉄 子 君	6 番	大 城 戸 ツヤ子 君
7 番	武 石 辰 久 君	8 番	小 林 信 君

○欠 席 議 員 な し

○地方自治法第 121 条の規定により説明のため、会議に出席した者の職氏名

村 長	小 林 悦 次
副 村 長	鈴 木 壽美子
総 務 課 長	小 林 博 隆
住 民 福 祉 課 長	加 藤 浩 二
建設課長兼産業課長	小 林 雄 幸
代 表 監 査 委 員	鈴 木 孝 明
教育委員会事務局長	大 沢 寿

○本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	田 村 秀 幸
議 会 書 記	小 林 京 子

○村長提出議案の題目 別紙のとおり

○議員提出議案の題目 な し

○議 事 日 程

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会 期 の 決 定
- 第 3 行 政 報 告
- 第 4 一 般 質 問
- 第 5 議案第 1 号 平成 29 年度上小阿仁村一般会計補正予算について
- 第 6 議案第 2 号 平成 29 年度上小阿仁村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について
- 第 7 議案第 3 号 平成 29 年度上小阿仁村介護保険事業勘定特別会計補正予算について
- 第 8 議案第 4 号 議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について
- 第 9 議案第 5 号 特別職の職員で非常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 第 10 議案第 6 号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 第 11 議案第 7 号 上阿仁村営住宅設置条例の一部を改正する条例について
- 第 12 陳 情

○本日の会議に付した事件
議事日程に同じ

○会議録署名議員の氏名

会議録署名議員の指名。

5 番 齋藤 鉄子君 6 番 大城戸 ツヤ子君

10 時 00 分 開会

○議長（小林信） おはようございます。

ただいまの出席議員は、8 名であります。

定足数に達しておりますので、これより平成 29 年第 7 回上小阿仁村議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。

諸般の報告

○議長（小林信） 日程に入る前に諸般の報告を行います。

この件につきましては、議員各位のお手元に文書を配布しておりますので、これにて諸般の報告といたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（小林信） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により議長において、5番 齋藤鉄子君、6番 大城戸ツヤ子君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（小林信） 日程第2 会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から12月14日までの3日間としたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小林信） 異議なしと認めます。よって、会期は3日間と決定いたしました。

説明員の通告

○議長（小林信） 説明員の通告がありますので、報告いたします。

副村長、鈴木壽美子君。総務課長、小林博隆君。建設課長兼産業課長、小林雄幸君。代表監査委員、鈴木孝明君。教育委員会事務局長、大沢寿君。

住民福祉課長、加藤浩二君においては親族の不幸により午前中欠席しております。

日程第3 行政報告

○議長（小林信） 日程第3 村長より、行政報告についての発言を求められておりますので、これを許します。村長 小林悦次君。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） 平成29年第7回上小阿仁村議会定例会にあたり、行政報告をさせていただきます。

最初に総務課関係であります。

1. 平成29年度補正予算についてであります。

平成29年度一般会計補正予算は、高齢者世帯等除雪費助成金など総額193万1,000円の追加補正で、補正後の総額は30億2,915万円となります。

秋田県町村電算システム共同事業組合負担金164万3,000円。電柱添架施設移設費250万円。高齢者世帯等除雪費助成金300万6,000円。国保保険基盤安

定繰出金 106 万 9,000 円。介護保険事業勘定特別会計繰出金 5,601 万 5,000 円。後期高齢者医療費療養給付金 140 万 2,000 円。元気な中山間農業応援事業 202 万 5,000 円。農地中間管理機構集積協力金 282 万 4,000 円。林業経営 100 年整備計画作成委託料△588 万円。常備消防委託料 227 万 5,000 円。財政調整基金積立金△6,369 万 6,000 円。

なお、特別会計につきましては、次の表のとおりでありますので、後ほどご覧いただきたいというふうに思います。

2. 台湾萬巒郷研修についてであります。

姉妹都市提携を結んでいる萬巒郷訪問を含む台湾への研修団を 10 月 11 日から 15 日までの 5 日間にわたって派遣をいたしました。

今回の研修団は、村職員 2 名を含む合計 7 名の参加となりました。村職員を除く内訳は、青年の部 1 名、一般の部 3 名、そして中学校から教諭 1 名でありました。

萬巒郷では、林郷長をはじめ、代表会、公所職員、郷民の皆さんから大歓迎と親切な対応をしていただきました。

兼ねてから検討していた特産品の輸入、輸出をはじめとする経済的交流について、今年は「かみこあに観光物産株式会社」代表取締役の伊藤茂樹さんに参加していただきましたので、今まで以上に経済交流が加速するものと期待をしております。

3. 秋田市地区かみこあに会についてであります。

10 月 27 日、秋田市内において、平成 29 年度秋田市地区かみこあに会総会が開催されました。

ご招待を受け、村と村議会からは 15 名が参加をさせていただきました。そのほか村商工会から 9 名が参加をしております。

今年は、秋の開催になってからの 2 回目となります。

最初に総会が開催され、昨年の総会で新任となった会長の小林秀晴さんからご挨拶をいただきました。総会終了後には懇親会が行われ、この日参加された 21 名の会員の方々と情報交換をし、村に対する貴重なご提言をいただきました。

4. かみこあにプロジェクト 2017 について

KAMI プロ・リスタ実行委員会主催による「かみこあにプロジェクト 2017」は、9 月の行政報告以降では、9 月 7 日に「アートを巡る健康ウォークキングを開催し、秋田県スポーツ振興課の佐藤栄悦講師の指導のもと、参加者 70 名が八木沢集落の野外作品を見学しながらウォークキングを楽しんでおります。

また、10 日は棚田舞台で 7 組のアーティストによる音楽フェスを開催しております。本人や親が村出身の方が 3 名参加しており、紹介の度に大きな声援をいただいております。

9月17日は、八木沢集落棚田ステージでクロージングイベントを行っております。この日は村の和太鼓グループ「鼓響」の演奏やアーティストトークに加え、参加作家の作による八木沢番楽の新しい幕のお披露目もありました。

最後に、実行委員会の会長の挨拶で閉幕をしております。

今年は、44日間の開催で6,267人の来場者がありました。

ボランティアで参加くださった方、クラウドファンディングで支援をしていただいた方、そして村民の皆様のご協力に感謝をいたしております。

来年度においても継続して事業を実施したいと思っておりますので、村民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

5. 平成29年度むらおこし特産品コンテストについて

全国商工会連合会が、昭和63年度から日本各地の地域資源の活用や商工会の助言・協力のもとに開発された特産品の普及や販路開拓を支援することを目的に開催している「むらおこし特産品コンテスト」で、かみこあに観光物産株式会社が製造・販売している「コンフィチュール・ほおずき」が今年度の中小企業庁長官賞を受賞しました。

これは最高賞の経済産業大臣賞に次ぐ賞であります。

村で生産された食用ほおずきをグラニュー糖などで煮詰め、瓶に詰めたこの商品は、ほおずきの甘くさわやかな香りと風味、新感覚の味、そして丁重に手作りしていることが評価されました。また、今年度、村では特産品開発事業の業務委託契約をかみこあに観光物産株式会社と締結をしております。

今回のコンフィチュールに次ぐ商品ができますよう期待をしております。

6. 上小阿仁村PRオリジナルキャラクターについて

この春に誕生したキャラクターの「こあぴょん」ですけれども、村の行事や村をPRするイベント等の出演機会が予想以上に多く、ほぼ毎週のようにPR活動に追われる人気者となっております。

加えて、最近ではデザインをグッズに使用したいとの申請もあり、活用の方が広がっております。今回、職員から「上小阿仁村をオリジナルPRキャラクターでPRする」と題する提案書が、上小阿仁村職員提案制度実施要綱により提出されました。

このキャラクター誕生にまつわるアイデアや発想、これからどのように活用していけば良いかについての提案で、具体的なPRの案も数多くありました。

これを受けて開いた提案審査会の結果「入選」でありましたので、提案された職員への報償を検討しております。

良い提案について、1つでも多く実現できるように対応してまいります。

7. 平成29年度上小阿仁村功労者表彰についてであります。

上小阿仁村表彰規則に基づき、去る 11 月 17 日と 12 月 4 日に表彰審査会を開催し、今年度一般表彰の被表彰者について協議をしたところ、下記のとおり決定しました。

12 月 22 日に開催する平成 29 年度上小阿仁村表彰式典において表彰する予定であります。

教育功労者 小林茂氏（北秋田市）。 民生功労者 原田幸三氏（大海）であります。心からお祝いを申し上げるものでものものであります。誠におめでとうございます。

続きまして住民福祉課関係であります。

1. 消防・防災関係について

11 月 5 日からの秋の火災予防運動の初日、大林集落で防災訓練を実施いたしました。

今回の訓練には、大林集落住民、消防団員など関係者を含め約 100 人の参加により、林野火災を想定しての避難、誘導、初期消火、避難所の開設など、実効性のある訓練を実施し、防災体制の強化と地域住民の防災意識の高揚を図っております。

また、1 月 4 日には、消防出初式の実施を予定しておりますので、小沢田集落内を行進する消防車両や消防団員の勇姿に、ご声援をお願いいたします。

2. 戦没者追悼式について

上小阿仁村戦没者追悼式を 10 月 26 日開催いたしました。

戦後 72 年を経て恒久平和の誓いのもと、関係者並びに遺族会員約 50 名が参列し、上小阿仁村関係戦没者 205 名あまりの英霊の遺徳を偲び、黙祷、献花を行いました。戦争に尊い命を捧げた戦没者のご冥福を心からお祈りいたします。

3. 高齢者世帯等除排雪事業について

平成 23 年度から実施しているこの事業は、高齢者等の冬期間における生活の安全と費用負担の軽減が図られることから、今年度も実施することとし、それに伴う補正予算を計上しております。

広報等で周知し、利用率の向上を図りたいと考えております。

4. インフルエンザ予防接種の助成について

今年度も 1 回の予防接種につき、乳幼児から中学生までは 2,000 円、65 歳以上の高齢者には 1,500 円を助成することとしております。

接種者の負担軽減を図り、接種率をアップさせることで、インフルエンザの流行が予防されるものと期待をしております。

5. 健康づくり事業・介護予防事業について

若い世代を中心とした健康づくり事業として、10 月 9 日の「体育の日」の記念行事に合わせて、教育委員会や食生活改善推進協議会、鷹巣阿仁福祉環境部

のご協力のもと、心と体の健康づくりイベントを開催いたしました。

10月18日には、「秋田県健康づくり県民運動巡回キャラバン」が行われ、本村の課題に応じた健康宣言を発表しました。

BMI（肥満度）25以上の人（肥満者）の割合、喫煙者の割合が全県に比べて高いことから、「上小阿仁村は、健康寿命日本一の実現に向けて、禁煙・運動習慣など健康づくりに取り組む村民を増やします」と発表しました。

11月17日には、栄養改善の普及、冬季へ向けての声かけの機会とすることを目的に、食生活改善推進員、男性の料理教室参加者、民生児童委員のご協力のもと、「高齢者ふれあいお弁当配達」を行いました。

今年度は、124世帯、164人分を作成しました。

介護予防事業・日常生活支援総合事業の一環である集落サロンの立ち上げのため、11月6日には、村内4集落の関係者及び村職員が先進地視察研修のため鹿角市を訪問しました。

実際のサロン活動に参加したほか、サロン運営者や行政担当者からお話を伺い知識を深めるとともに、今後の取り組みに向け、参加者間での情報共有を図りました。

これらの事業が、村民の健康づくりに役立つことを期待しております。

なお、第7期介護保険事業計画については、介護保険料の引上げが予想されますが、今後とも介護保険制度の良好な維持継続のために対応してまいります。

6. 環境衛生について

10月15日に秋の全村一斉クリーンアップを実施したところ、450kgのゴミが回収されました。村民の皆様のご協力により、村内の清掃と環境美化が図られております。

続きまして産業課関係であります。

1. 稲作状況について

本年の稲作について、農林水産省大臣官房統計部の公表による作況指数は、秋田県平均が99の「平年並み」で、県北も同じ99となっております。

全国の10アール当たり予想収量は534kgとなり、前年産から10kg減少が見込まれ、主食用の予想収穫量は730万9千トンとなり、前年産と比べると18万7千トンの減少が見込まれております。

村での作付面積は310.1haで、主食用米が246.1ha、加工用米が39.8ha、飼料用米が24.2haとなっておりますので、本年度の生産数量目標の271.0haから主食用を差し引きますと24.9haの減産となっております。

なお、11月24日現在のJAあきた北央への村の米出荷契約数量は1俵60kg換算で18,504.5俵に対して、買入数量は15,144俵の81.8%となっております。

平成30年度より転作配分が廃止されることから、農家にとっては重大な転換

期を迎えます。関係機関と協力し、不安のない米づくりができるよう体制を整え農家の支援に努めてまいります。

2. 元気な中山間農業応援事業について

村では、地域特産物の本作化を図るため、水田の畑地化に必要な基盤整備に取り組み、県営事業により暗渠排水、排水路、用水路を整備する工事が発注となっており、平成30年3月30日の完成予定となっております。

堂川字下夕川原地区（受益面積3.5ha）、大林字谷地地区（受益面積0.4ha）、南沢字塚ノ岱地区（受益面積3.7ha）の3地区で、整備後は枝豆を中心とした畑作経営に取り組むものであります。

3. 農地中間管理事業について

農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進める担い手への農地利用の集積、集約化を進めるため、農地中間管理機構への利用権設定を誘導し、農地集積を図り、作業の効率化や農地環境整備を進めてまいります。

平成29年度中の利用権設定は8件、10.4haの実績がありました。

4. 第40回上小阿仁村産業祭について

10月28日、29日の両日、健康増進トレーニングセンターを会場に産業祭を開催いたしました。

農産物やアイデア加工品など230点の出品があり、昨年度と比較すると24点増の出品となりました。

農作物の出品は、天候不順等により出品数の減少が予想されましたが、昨年度よりも30点多く、それも見事な出来栄でありました。

出品された方々の日頃のご努力に敬意を表するとともに、開催にご協力いただいた関係者の皆様に感謝を申し上げるものであります。

5. 大館・北秋ご当地グルメ秋まつりについて

10月14日、15日に、道の駅を会場に第7回大館・北秋ご当地グルメ秋まつり INKAMIKOANI「北秋田の食の魅力が集結」が開催されました。

秋田県北秋田地域振興局、村、村商工会、あきた北央農協、村観光協会、かみこあに観光物産株式会社で組織する実行委員会からなる上小阿仁村食農観丸ごと推進協議会が主催となり、大館、北秋田地域で取り組んでいる食を一堂に会したイベントを開催いたしました。

大館北秋の事業者10業者、村内3業者、県内のゲスト事業者2業者の計15業者が出店し、2日間とも天候には恵まれ、初日は3,000人、翌日は5,000人、合わせて8,000人の来場者で賑わうことができました。

目標売上金額400万円に対して297万円の売上実績でありました。前年に比べ7店舗少ない状況であったものの、平均売上が伸びていることを考慮すると概ね目標を達成できたと思っております。

次年度以降の取り組みについては、上小阿仁村食農観丸ごと推進協議会で検討をしております。

6. 有害鳥獣捕獲について

本年度の有害鳥獣捕獲は、ツキノワグマ 31 頭で、前年比 6 頭の増でした。クマの生息域が拡大した影響によるものとなりました。

今年は、村内でも農作物への食害や倉庫への侵入による被害など異常出沒が多発し、人身事故等も懸念されましたが、猟友会のご活躍により人身事故の発生を未然に防止することができました。

日々猟友会の皆様には、多大なるご苦勞をおかけし、有害駆除にご尽力いただきましたことに感謝を申し上げます。

イノシシやニホンジカについては、県北地域でも生息が確認され、畑作物への被害も多発しております。

本村においても有害鳥獣被害防止計画を見直し、対応できる体制整備に努めてまいります。

7. 大館北秋田地域林業成長産業化協議会について

林業成長産業化構想に基づき、「循環の輪」の創造を目指し、地域の充実した森林資源の最大活用と資源循環の確立をもって林業成長産業化を実現させることを目的として、10月11日に協議会を設立しております。

今後、森林資源の有効的な活用と林業関連設備整備を進めてまいりたいと思っております。

8. 造林造材事業等の発注状況について

平成29年9月定例会以降の発注状況は、次の表のとおりとなっておりますので、後ほどご覧をいただきたいというふうに思います。

続きまして建設課関係であります。

1. 除雪計画について

今期の除雪計画について、村道等 149 路線、53.7km、歩道については国道、県道、村道合わせて 6 路線 11.6 km を計画しております。

委託車両はショベルドーザ 13 台、ミニローダ 1 台。直営車両ショベルドーザ 3 台、ロータリー車 2 台の総車両 19 台で除雪をいたします。

地域住民の生活に支障をきたさないよう、官民一体となって万全の除雪体制を確立し、効率的な除雪に努めてまいります。

2. 簡易水道事業について

平成30年度において、県は国道285号線新羽立橋の上部の工事を予定しております。それに伴い、橋に添加している羽立地区の堂川水源地からの給水管支柱を一時的に移設する工事の説明を受けております。工事費については、30年度予算に計上を予定しております。

3. 村営住宅について

村営住宅は、現在7戸が空いており、広報で入居者を募集しております。予定しております修繕工事は全て完了しております。

給湯設備の更新は1月末で完了予定となっております。

4. 住宅リフォーム支援事業について

村の住宅リフォーム支援事業については、次のとおりとなっておりますので、後ほどご覧いただきたいというふうに思います。

5. 道の駅を拠点とした自動運転実証実験について

12月3日に実証実験の開始式を挙行し、12月4日から10日までの7日間にわたり実証実験を行っております。

実験にあたりドライバーや乗車モニターなど、小沢田集落や福館集落の皆様には実験への協力をいただき感謝を申し上げます。

また、実証実験に伴い道の地駅への野菜等の出荷者に対しましてのアンケートにつきましてはも協力をいただいているところであります。

実験の検証は、国の機関で行うこととなっております。

将来は、村及び全国で交通弱者救済のため、実用化に期待をしているところであります。

6. 農業集落排水事業及び公共下水道事業について

長寿命化や施設の効率的な運転のため、機械部品の交換修繕等を実施し、施設の適正な管理に努めております。

7. 工事等の発注状況について

平成29年9月定例会以降の発注状況は、次のとおりとなっておりますので、後ほどご覧いただきたいというふうに思います。

次に教育委員会関係であります。

1. 学校教育関係について

(1) 9月16日と17日に大館北秋田中学校新人総合体育大会が行われました。

野球部は下川沿中学校と合同チームとなり、鷹巣南中学校と対戦しております。

女子バスケットボール部は、鷹巣中学校との合同チームで大館東中学校や大館第一中学校と対戦をしました。

どちらも残念ながら勝利することはできませんでしたが、大健闘しております。今後の頑張りに期待をしているところであります。

(2) 10月7日に上小阿仁小中学校の学校祭が開催されました。

郷土芸能には小学校4年生から中学校3年生までが全員参加し、地域の指導者や先生たちと一体となって取り組んだ発表は、すばらしいものであります。

各学年による学芸発表は、それぞれに工夫されて楽しいものであります。

特に、小学校5年生の英語劇、中学校1・2年生によるダンス、3年生の劇、合川中学校と合同による吹奏楽部演奏、英語暗唱などに成長した姿を見せてくれました。

合唱は、小学校、中学校共に明るく元気な歌声を会場に響かせ、大きな拍手と声援をいただきました。

(3) 10月28日にかみこあに小学校創立・小中併設10周年の記念式典が生涯学習センターにおいて行われました。

村民歌斉唱や田中安規実行委員長の挨拶などに続いての児童生徒代表の挨拶はとても立派でありました。

記念集会では教育活動の発表や全校合唱が披露され、出席者一同感動しておりました。その後、県教育委員会教育長米田進氏による記念講演が行われております。

(4) 11月6日に平成30年度の小学校入学予定者8名(男5名、女3名)に対する就学時健康診断が実施されました。

就学予定児童には、聴力検査、視力検査、知能検査等が行われ、保護者に対しても教育委員会と学校から、入学までの準備や心構えについて説明が行われました。

2. 社会教育・生涯学習関係について

(1) 10月1日に第4回秋田25市町村対抗駅伝ふるさと秋田ランが男鹿市を会場に実施され、総合では34チーム中31位、村の部では2位という結果でありました。全員が心ひとつに懸命に走ってタスキをつなぎ、村民に元気を与えてくれました。

(2) 10月9日に体育の日記念行事が行われました。

ウォーキングラリーやグランドゴルフなどに多くの村民の皆さんに参加をしていただきました。

秋田北鷹高校書道部のパフォーマンスや初めて行った豚汁サービスも好評でありました。なお、心と体の健康づくりイベントも生涯学習センターにおいて同時開催されております。

(3) 10月15日に第53回五城目・上小阿仁間駅伝競走大会が10チームの参加で行われました。好天に恵まれ、沿道の村民の方々からは大きな声援をいただきました。村からは体育協会チームと役場チームが出場し、体育協会チームは3位入賞、役場チームは9位でしたが、最後までねばりのある走りを見せてくれました。

(4) 10月23日から29日まで上小阿仁村生涯学習週間が開催されました。

住民による学習作品の展示や親子映画鑑賞会、図書館企画、保育園児によるお茶の教室などが行われ、たくさんの方にご来場いただきました。

29 日に行われた学習発表会には保育園・小中学校・サークル等 13 団体が出演をしております。

高校生海外研修についても引率者と参加生徒が体験発表をしております。

上小阿仁村スポーツ賞では、栄光賞に個人 5 名、奨励賞に個人 1 名、団体 1 チームを表彰いたしました。

(5) 11 月 22 日には村の綱引大会がトレーニングセンターで行われました。小中学校 6 チーム、一般 8 チームが参加して多くの方から声援を受けながら熱戦が繰り広げられました。

次に国保診療所関係であります。

4 月から 10 月までの診療状況は、医科外来が診療日数 132 日、患者数 4,626 人、1 日平均患者数は 35 人となっており、4 月から特別養護老人ホーム杉風荘の嘱託医を引き受けたことにより、昨年と比較して 1 日平均で 9 人増となっております。

歯科は診療日数 136 日、患者数 1,069 人、1 日平均患者数は 8 人となっております。

医科外来のうち毎週月曜日診療の泌尿器科については、診療日数 26 日、患者数 512 人、1 日平均患者数は 20 人となっております。

昨年 6 月より開始している訪問診療は、現在 3 件の訪問を実施しております。

今後とも、地域住民の健康を守る医療機関として、より一層の経営努力を進めてまいりますので、ご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

以上であります。

○議長（小林信） これで行政報告を終わります。